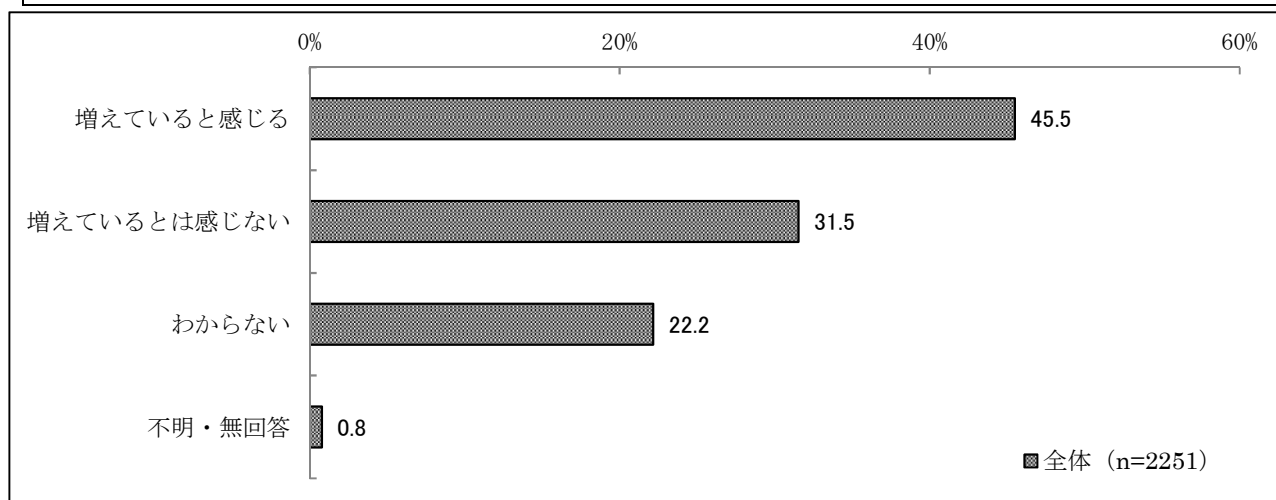


### 3. 空き家について

#### (1) 地域での空き家について

問8 あなたがお住まいの地域で、空き家が増えていると感じますか。  
該当するもの1つに○をつけてください。(○は1つだけ)



— 「増えていると感じる」が4割以上 —

#### 【全体結果】

「増えていると感じる」(45.5%)が4割を超え、割合が最も高い。「増えているとは感じない」(31.5%)は、約3割であった。

#### 【属性別結果】(次ページ図3-1参照)

##### ① 地区別

「増えていると感じる」は、西蒲区(54.3%)で割合が最も高く、次いで、秋葉区(52.1%)、南区(52.0%)、北区(51.9%)と続き、5割を超えている。東区(36.6%)で割合が最も低く、次いで江南区(38.5%)が低い。

##### ② 性別

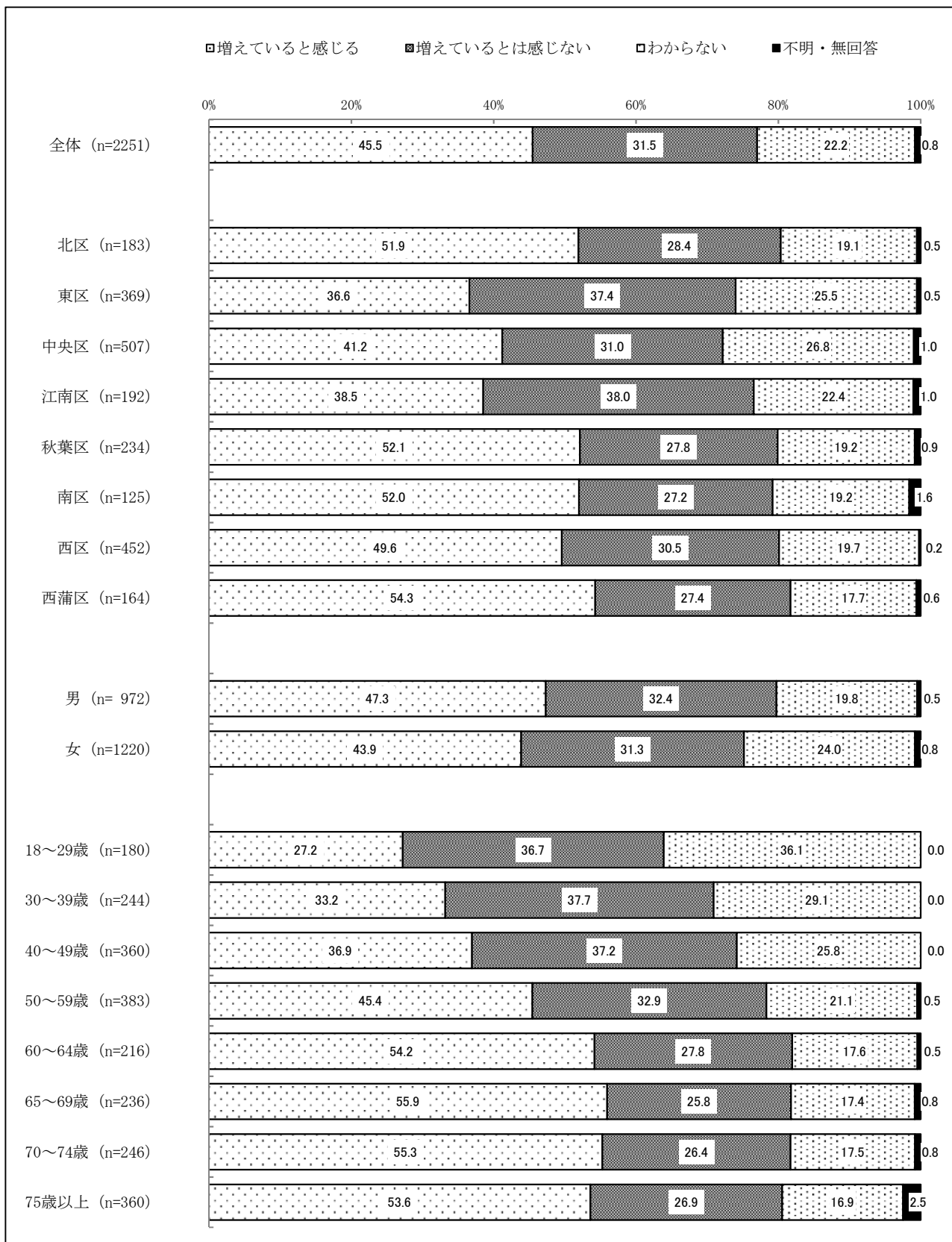
女性(43.9%)と比較して男性(47.3%)は「増えていると感じる」と回答した割合が若干高い。

##### ③ 年齢別

「増えていると感じる」は、60歳以上で割合が高く、5割を超えた。50歳未満では「増えていると感じない」の割合が「増えていると感じる」の割合を上回った。「増えていると感じる」の割合は、高齢になるほど増す傾向がみられる。

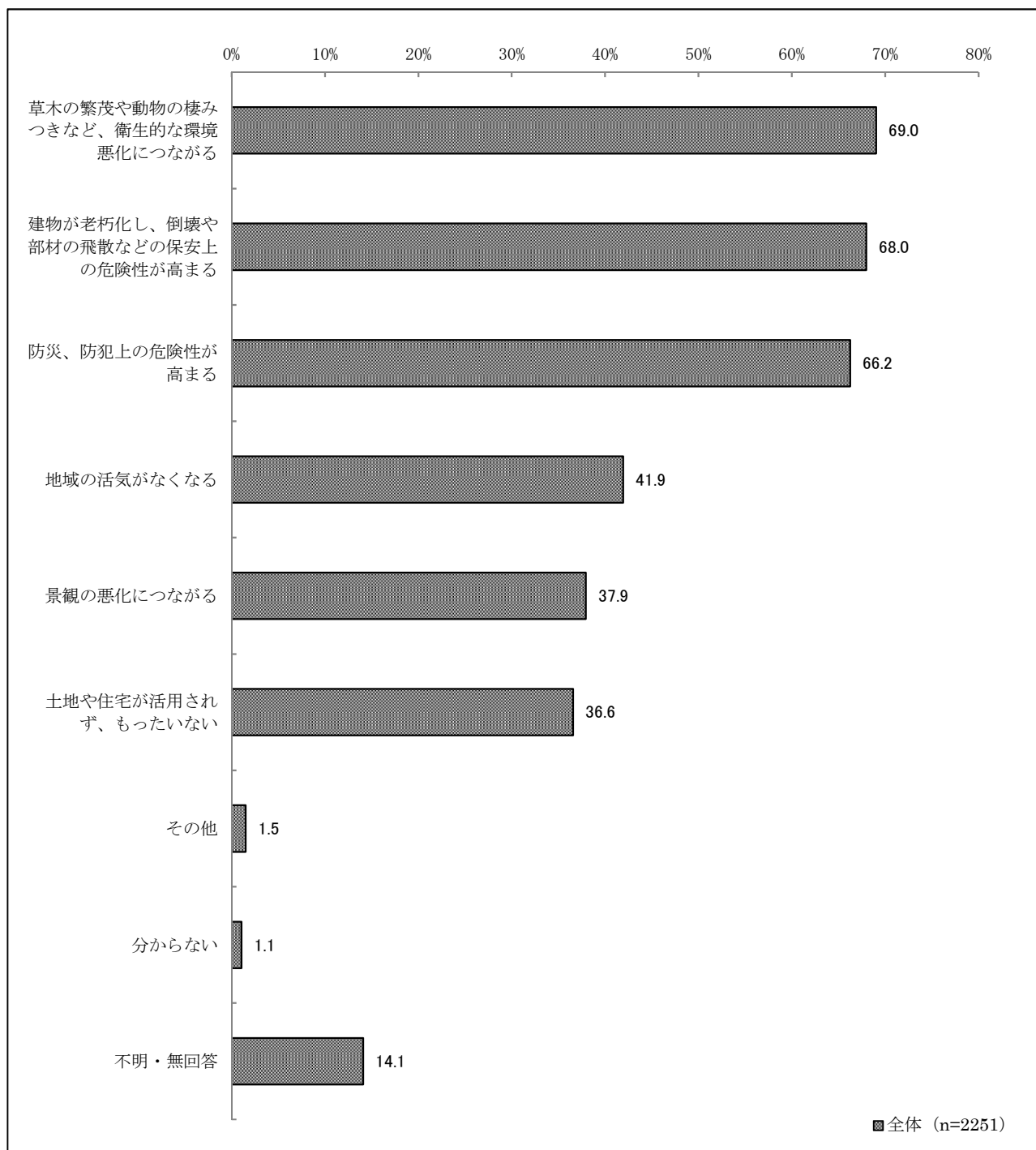
18～29歳では「わからない」(36.1%)の割合が高い。

図 3-1 地域で空き家が増えていると感じるか（地区別/性別/年齢別）



## (2) 空き家が増えることによる問題

問9 あなたは、地域に空き家が増えることによって、どのような問題が起こると思いますか。それぞれの項目で該当するもの全てに○をつけてください。また、該当する項目のうち重大な問題と思われる順に1位から3位まで番号でお答えください。(○はいくつでも)



— 空き家が増えることによって起こる問題は「草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる」、「建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる」、「防災、防犯上の危険性が高まる」 —

#### 【全体結果】

空き家が増えることによって起こる問題は、「草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる」(69.0%)の割合が最も高く、「建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる」(68.0%)、「防災、防犯上の危険性が高まる」(66.2%)となった。

#### 【属性別結果】(次ページ図3-2参照)

##### ① 地区別

「草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる」については、秋葉区(74.8%)で割合が最も高く、次いで、北区(72.7%)、西区(72.3%)で7割を超えている。

「建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる」については、西蒲区(73.8%)、秋葉区(73.5%)、南区(72.8%)で割合が高く、7割を超えた。

「防災、防犯上の危険性が高まる」については、東区(68.8%)で割合が最も高く、いずれの地区でも6割を超えた。

##### ② 性別

「草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる」、「建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる」、「防災、防犯上の危険性が高まる」は、男性(各65.0%、66.0%、63.5%)と比較して女性(各72.2%、70.1%、69.3%)の割合がやや高い。

##### ③ 年齢別

18～29歳は、ほかの年齢と比較して、「草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる」(55.0%)、「建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる」(60.6%)、「防災、防犯上の危険性が高まる」(58.3%)の割合が低く、「土地や住宅が活用されず、もったいない」(45.0%)の割合が高い。

図 3-2 空き家が増えることによる問題（地区別/性別/年齢別） 1/2

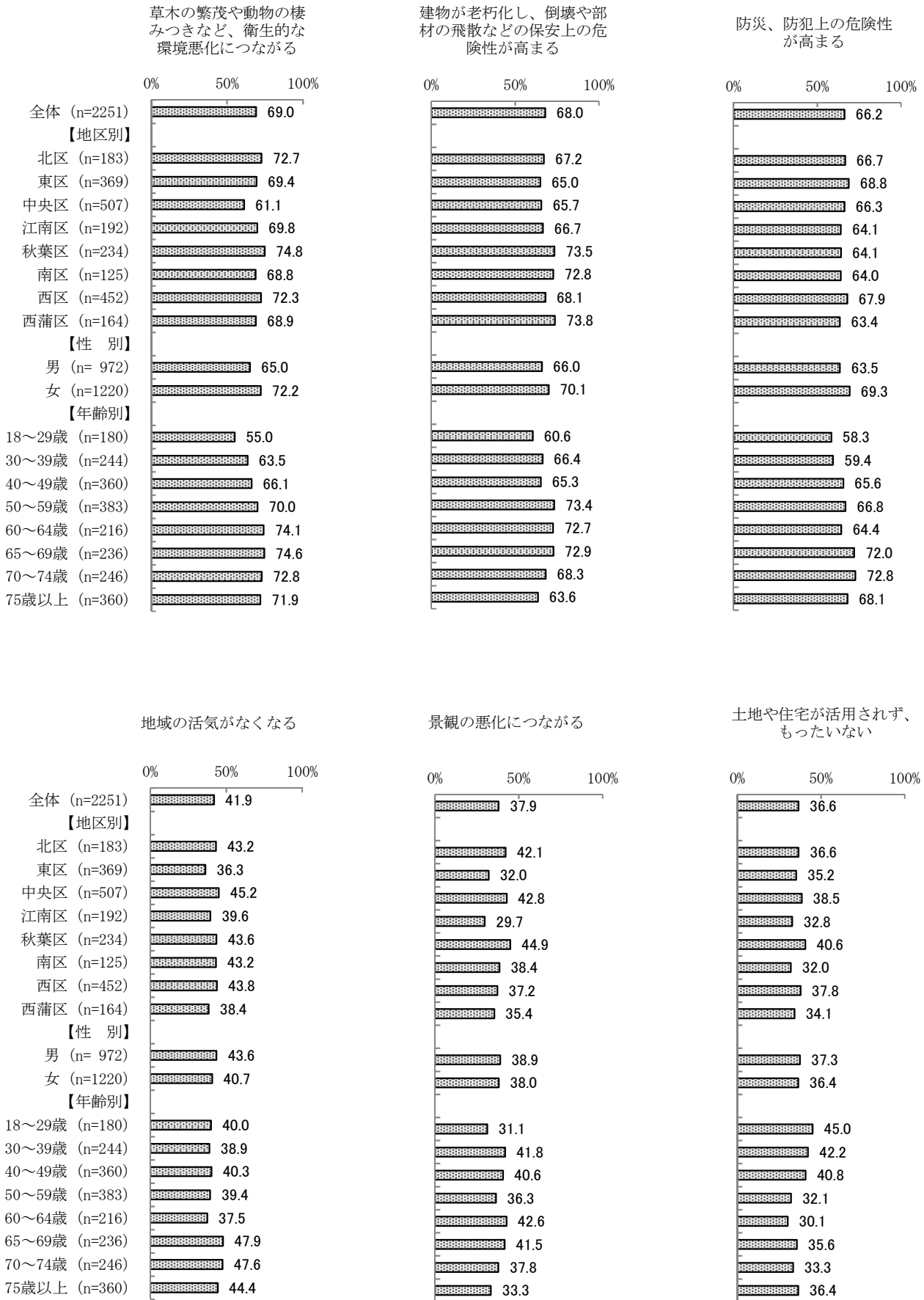
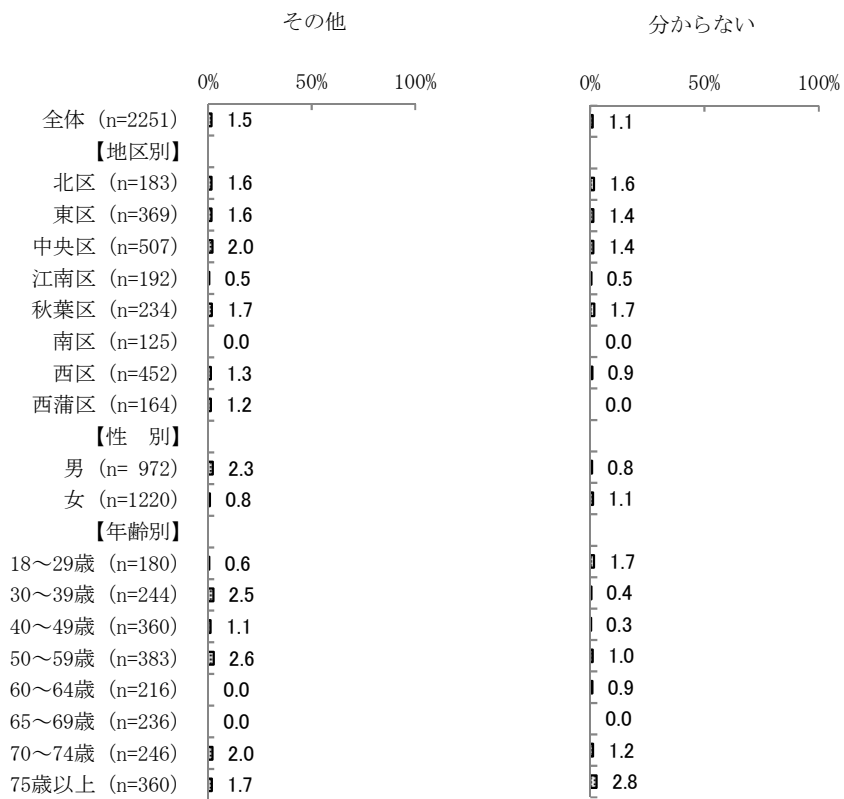
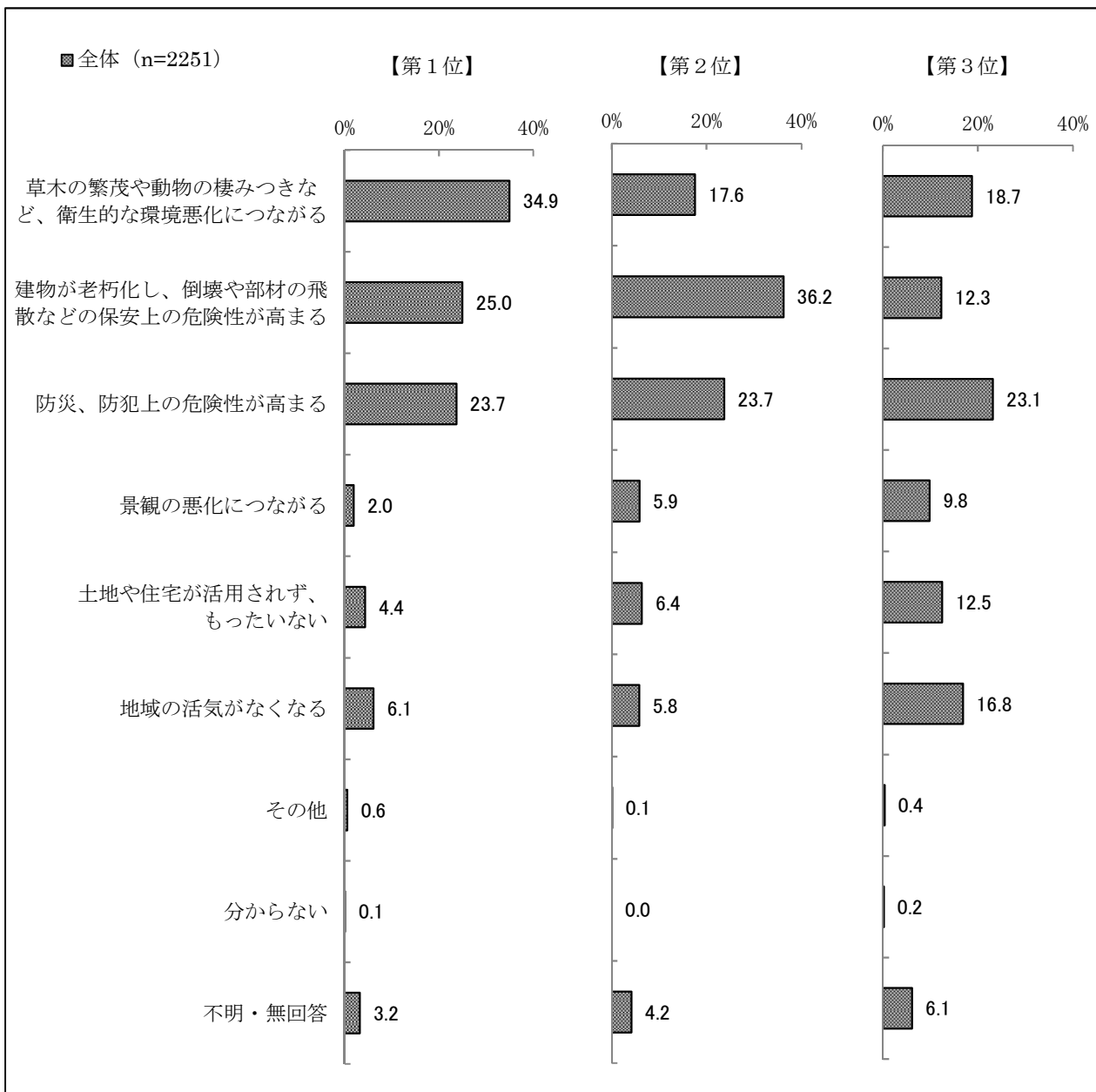


図 3-2 空き家が増えることによる問題（地区別/性別/年齢別） 2/2



問9 上記のうち重大な問題と思われる順に1位から3位まで番号でお答えください。



— 空き家が増えることによる重大な問題は「草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる」と「建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる」 —

#### 【全体結果】

【第1位】の割合は、「草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる」(34.9%)で最も高い。次いで「建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる」(25.0%)、「防災、防犯上の危険性が高まる」(23.7%)の順に続く。

【第2位】の割合は、「建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる」(36.2%)で最も高い。次いで「防災、防犯上の危険性が高まる」(23.7%)、「草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる」(17.6%)の順に続く。

【第3位】の割合は、「防災、防犯上の危険性が高まる」(23.1%)で最も高い。次いで「草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる」(18.7%)、「地域の活気がなくなる」(16.8%)の順に続く。

#### 【平均得点算出結果】

※算出方法

【第1位回答】に3ポイント、【第2位回答】に2ポイント、【第3位回答】に1ポイントを与え、平均得点を算出した結果を85ページに掲載した。(P85の図3-3参照)

算出例を以下に掲載した。

※1：平均得点（ポイント）の算出式

$$\left( \left[ \text{第1位回答} \right] \times 3 + \left[ \text{第2位回答} \right] \times 2 + \left[ \text{第3位回答} \right] \times 1 \right) \div n \text{ 数}$$

※2：平均得点の算出例（全体結果、「草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる」の場合）

$$(786 \times 3 + 396 \times 2 + 422 \times 1) \div 2,251 \div 1.59 \Rightarrow \text{平均得点} = 1.59 \text{ ポイント}$$

【平均得点（ポイント）】をみると、「建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる」が1.60ポイントで最も高い。

以下、「草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる」が1.59ポイント、「防災、防犯上の危険性が高まる」が1.42ポイント、「地域の活気がなくなる」が0.47ポイントで続いている。



## 【属性別結果】(P86 からの表 3-1 参照)

### ① 地区別

北区、秋葉区、南区、西区では、第1位は「草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる」、第2位は「建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる」、第3位は「防災、防犯上の危険性が高まる」となった。

江南区、西蒲区では、第1位は「建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる」、第2位は「草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる」、第3位は「防災、防犯上の危険性が高まる」となった。

東区では、第1位は「防災、防犯上の危険性が高まる」、第2位は「草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる」、第3位は「建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる」となった。

### ② 性別

男女ともに、第1位は「建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる」、第2位は「草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる」、第3位は「防災、防犯上の危険性が高まる」となった。

### ③ 年齢別

70歳未満では、第1位は「建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる」となった。一方、70歳以上では、第1位は「草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる」となった。

第2位は18～29歳、75歳以上では「防災、防犯上の危険性が高まる」となり、70～74歳では「建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる」、それ以外では「草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる」となった。

図 3-3 空き家が増えることによる重大な問題<平均得点 (ポイント)> (全体)

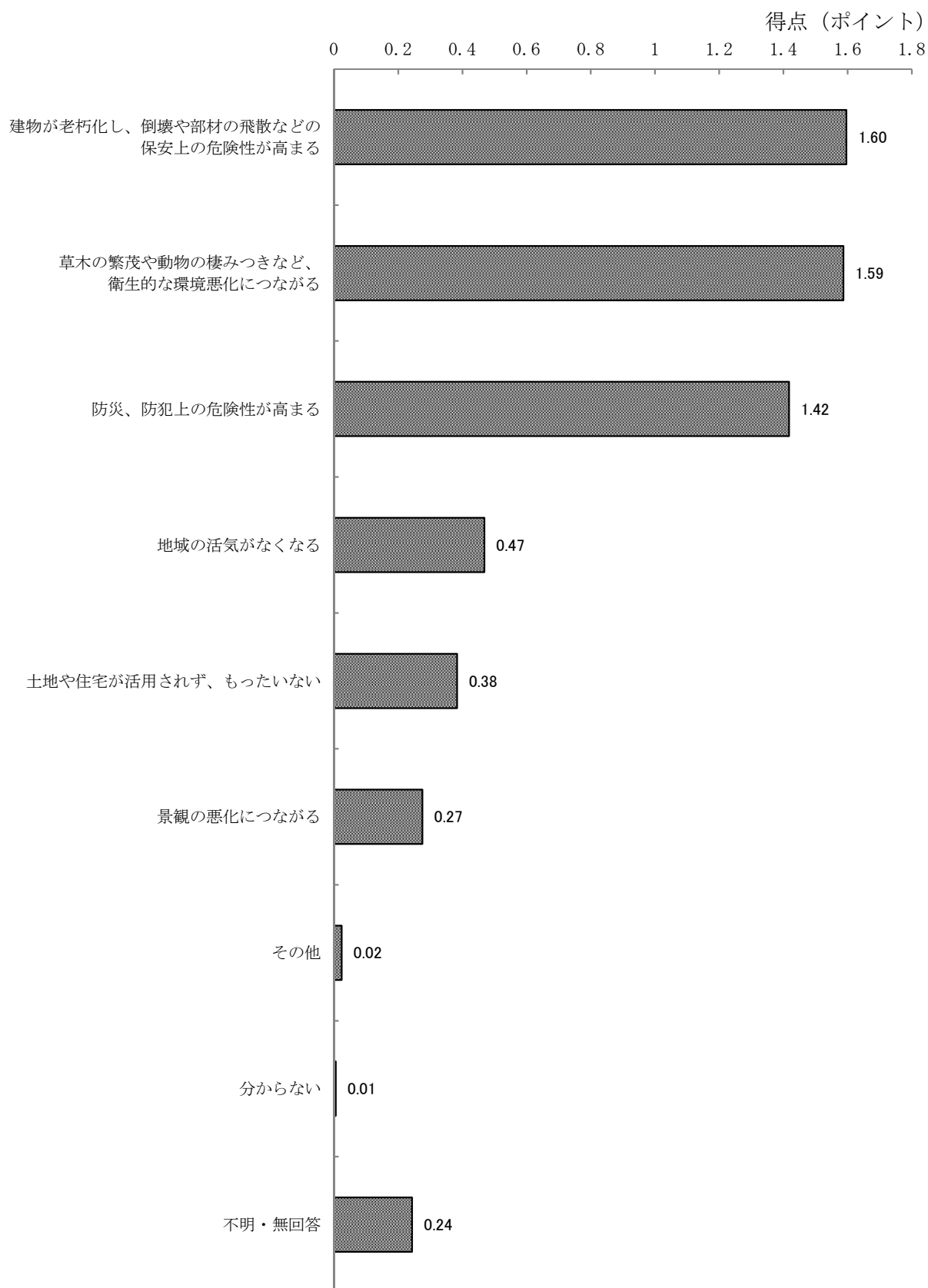


表 3-1 空き家が増えることによる重大な問題

<地区別の上位5つ>

	北区	東区	中央区	江南区
1位	草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる 1.68ポイント	防災、防犯上の危険性が高まる 1.59ポイント	建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる 1.57ポイント	建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる 1.74ポイント
2位	建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる 1.56ポイント	草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる 1.58ポイント	防災、防犯上の危険性が高まる 1.47ポイント	草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる 1.66ポイント
3位	防災、防犯上の危険性が高まる 1.34ポイント	建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる 1.53ポイント	草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる 1.34ポイント	防災、防犯上の危険性が高まる 1.37ポイント
4位	地域の活気がなくなる 0.43ポイント	地域の活気がなくなる 0.43ポイント	地域の活気がなくなる 0.56ポイント	地域の活気がなくなる 0.45ポイント
5位	土地や住宅が活用されず、もったいない 0.40ポイント	土地や住宅が活用されず、もったいない 0.38ポイント	土地や住宅が活用されず、もったいない 0.42ポイント	土地や住宅が活用されず、もったいない 0.35ポイント

	秋葉区	南区	西区	西蒲区
1位	草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる 1.68ポイント	草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる 1.84ポイント	草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる 1.66ポイント	建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる 1.82ポイント
2位	建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる 1.25ポイント	建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる 1.65ポイント	建物が老朽化し、倒壊や部材の飛散などの保安上の危険性が高まる 1.53ポイント	草木の繁茂や動物の棲みつきなど、衛生的な環境悪化につながる 1.68ポイント
3位	防災、防犯上の危険性が高まる 0.70ポイント	防災、防犯上の危険性が高まる 1.18ポイント	防災、防犯上の危険性が高まる 1.47ポイント	防災、防犯上の危険性が高まる 1.29ポイント
4位	地域の活気がなくなる 0.44ポイント	地域の活気がなくなる 0.45ポイント	地域の活気がなくなる 0.44ポイント	地域の活気がなくなる 0.50ポイント
5位	土地や住宅が活用されず、もったいない 0.35ポイント	土地や住宅が活用されず、もったいない 0.32ポイント	土地や住宅が活用されず、もったいない 0.43ポイント	土地や住宅が活用されず、もったいない 0.28ポイント

<性別、年齢別平均得点の上位5つ>

	男 性	女 性	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳
1位	建物が老朽化し、倒壊 や部材の飛散などの 保安上の危険性が高 まる 1.54ポイント	建物が老朽化し、倒壊 や部材の飛散などの 保安上の危険性が高 まる 1.66ポイント	建物が老朽化し、倒壊 や部材の飛散などの 保安上の危険性が高 まる 1.38ポイント	建物が老朽化し、倒壊 や部材の飛散などの 保安上の危険性が高 まる 1.69ポイント	建物が老朽化し、倒壊 や部材の飛散などの 保安上の危険性が高 まる 1.64ポイント
2位	草木の繁茂や動物の 棲みつきなど、衛生的 な環境悪化につながる 1.54ポイント	草木の繁茂や動物の 棲みつきなど、衛生的 な環境悪化につながる 1.63ポイント	防災、防犯上の危険 性が高まる 1.31ポイント	草木の繁茂や動物の 棲みつきなど、衛生的 な環境悪化につながる 1.52ポイント	草木の繁茂や動物の 棲みつきなど、衛生的 な環境悪化につながる 1.56ポイント
3位	防災、防犯上の危険 性が高まる 1.36ポイント	防災、防犯上の危険 性が高まる 1.48ポイント	草木の繁茂や動物の 棲みつきなど、衛生的 な環境悪化につながる 1.30ポイント	防災、防犯上の危険 性が高まる 1.27ポイント	防災、防犯上の危険 性が高まる 1.49ポイント
4位	地域の活気がなくなる 0.54ポイント	地域の活気がなくなる 0.41ポイント	土地や住宅が活用さ れず、もったいない 0.78ポイント	地域の活気がなくなる 0.53ポイント	土地や住宅が活用さ れず、もったいない 0.45ポイント
5位	土地や住宅が活用さ れず、もったいない 0.40ポイント	土地や住宅が活用さ れず、もったいない 0.37ポイント	地域の活気がなくなる 0.54ポイント	土地や住宅が活用さ れず、もったいない 0.48ポイント	地域の活気がなくなる 0.31ポイント

	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳以上	75 歳以上
1位	建物が老朽化し、倒壊 や部材の飛散などの 保安上の危険性が高 まる 1.69ポイント	建物が老朽化し、倒壊 や部材の飛散などの 保安上の危険性が高 まる 1.82ポイント	建物が老朽化し、倒壊 や部材の飛散などの 保安上の危険性が高 まる 1.70ポイント	草木の繁茂や動物の 棲みつきなど、衛生的 な環境悪化につながる 1.72ポイント	草木の繁茂や動物の 棲みつきなど、衛生的 な環境悪化につながる 1.58ポイント
2位	草木の繁茂や動物の 棲みつきなど、衛生的 な環境悪化につながる 1.60ポイント	草木の繁茂や動物の 棲みつきなど、衛生的 な環境悪化につながる 1.74ポイント	草木の繁茂や動物の 棲みつきなど、衛生的 な環境悪化につながる 1.67ポイント	建物が老朽化し、倒壊 や部材の飛散などの 保安上の危険性が高 まる 1.51ポイント	防災、防犯上の危険 性が高まる 1.50ポイント
3位	防災、防犯上の危険 性が高まる 1.47ポイント	防災、防犯上の危険 性が高まる 1.34ポイント	防災、防犯上の危険 性が高まる 1.42ポイント	防災、防犯上の危険 性が高まる 1.41ポイント	建物が老朽化し、倒壊 や部材の飛散などの 保安上の危険性が高 まる 1.35ポイント
4位	地域の活気がなくなる 0.47ポイント	地域の活気がなくなる 0.40ポイント	地域の活気がなくなる 0.53ポイント	地域の活気がなくなる 0.53ポイント	地域の活気がなくなる 0.42ポイント
5位	土地や住宅が活用さ れず、もったいない 0.33ポイント	土地や住宅が活用さ れず、もったいない 0.27ポイント	土地や住宅が活用さ れず、もったいない 0.33ポイント	土地や住宅が活用さ れず、もったいない 0.33ポイント	土地や住宅が活用さ れず、もったいない 0.29ポイント

図 3-4-1 空き家が増えることによる重大な問題 第 1 位（地区別/性別/年齢別） 1/2

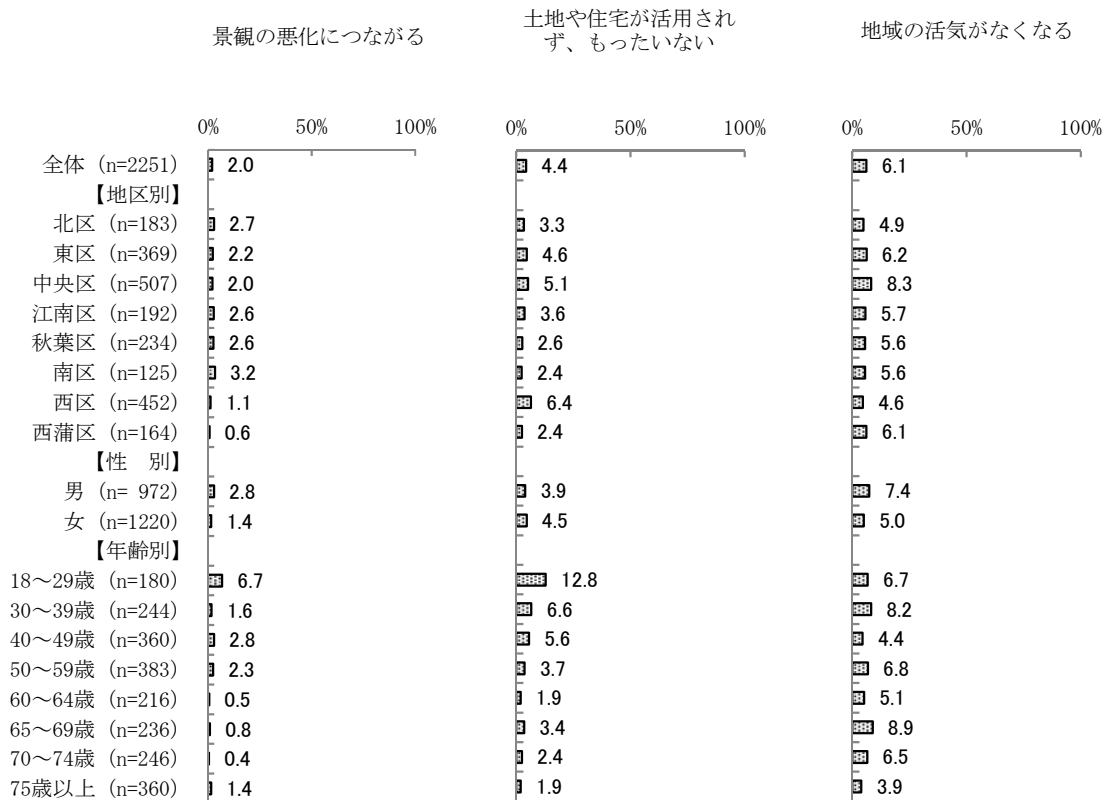
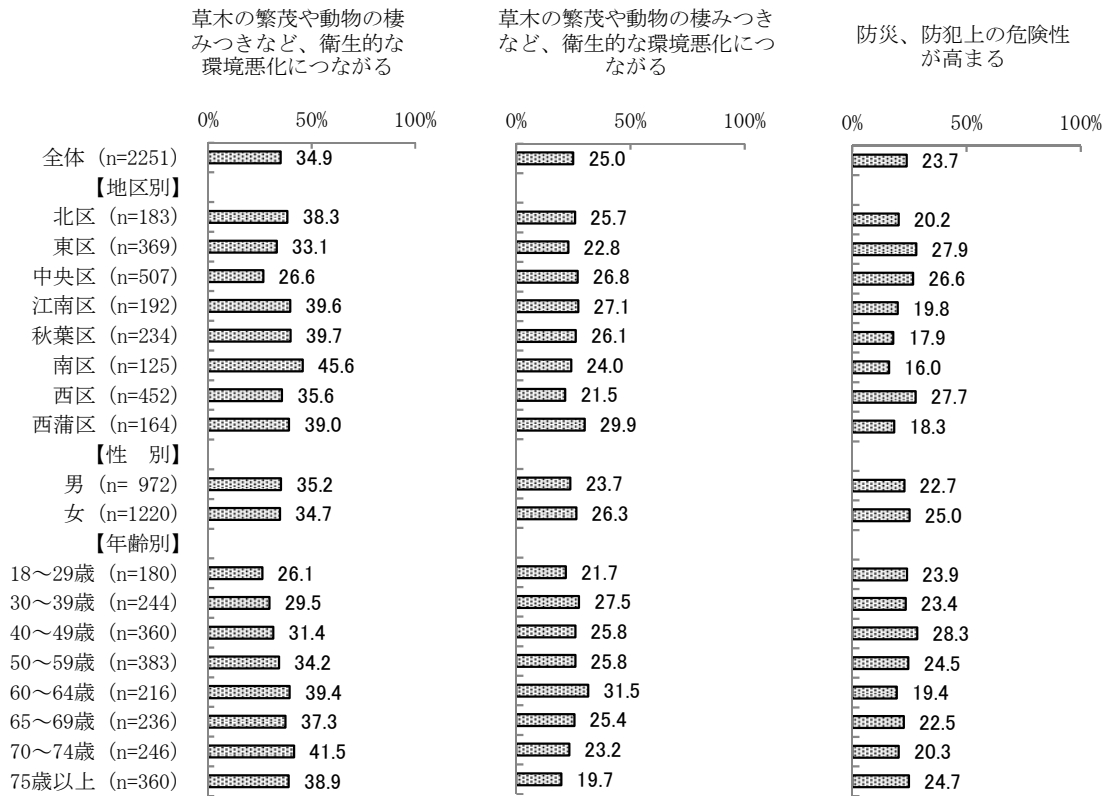


図 3-4-1 空き家が増えることによる重大な問題 第1位（地区別/性別/年齢別） 2/2

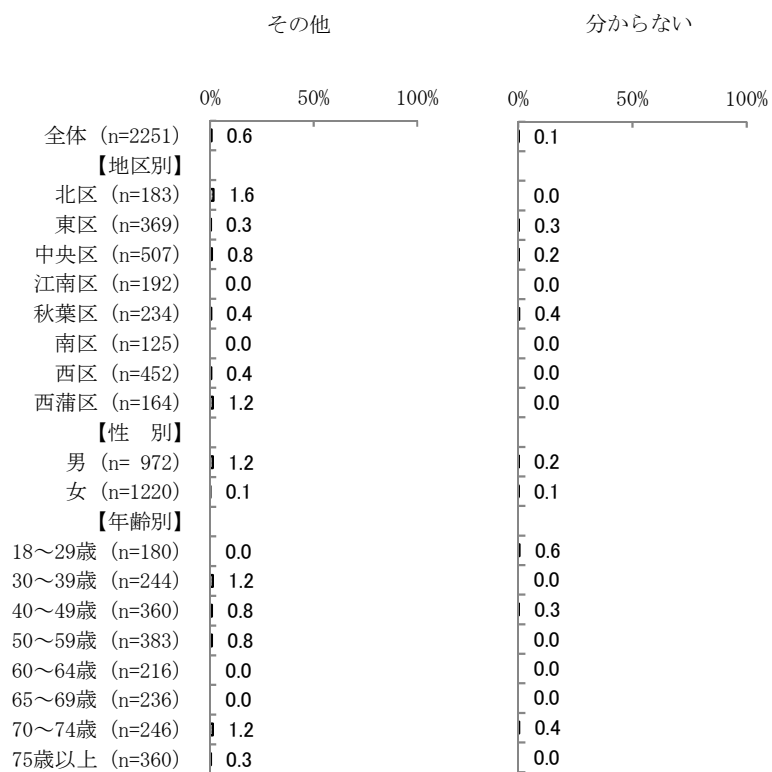


図 3-4-2 空き家が増えることによる重大な問題 第 2 位（地区別/性別/年齢別） 1/2

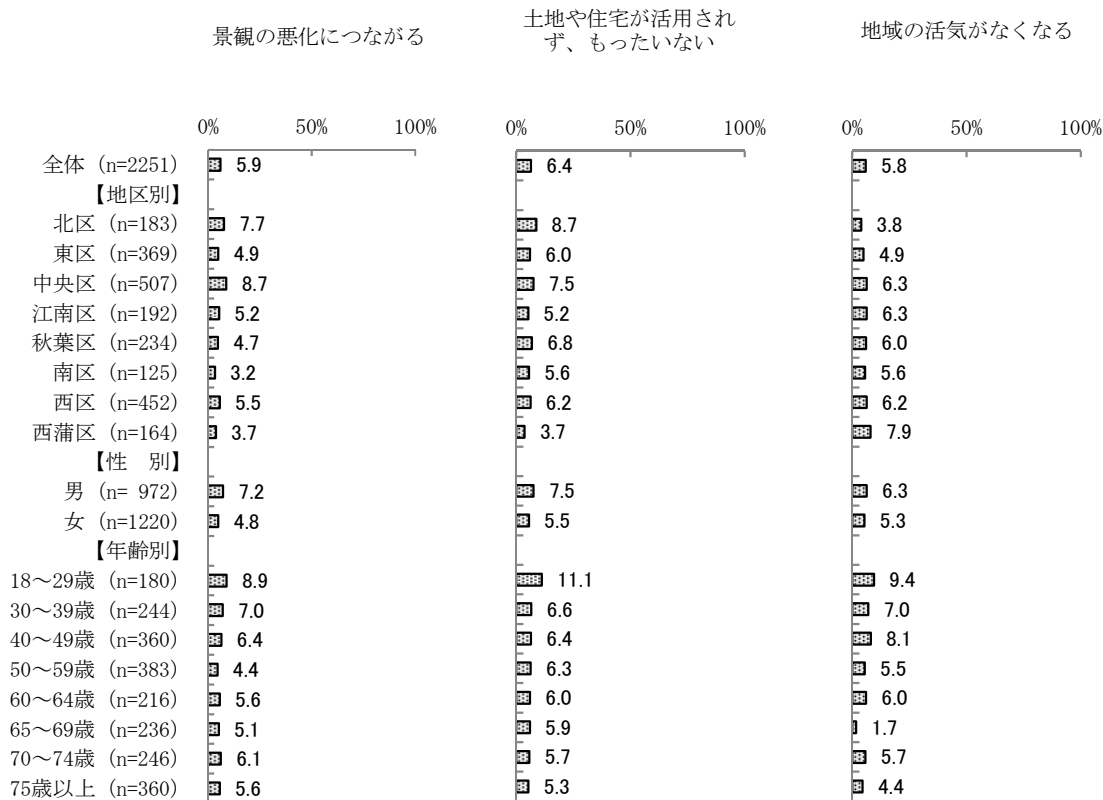
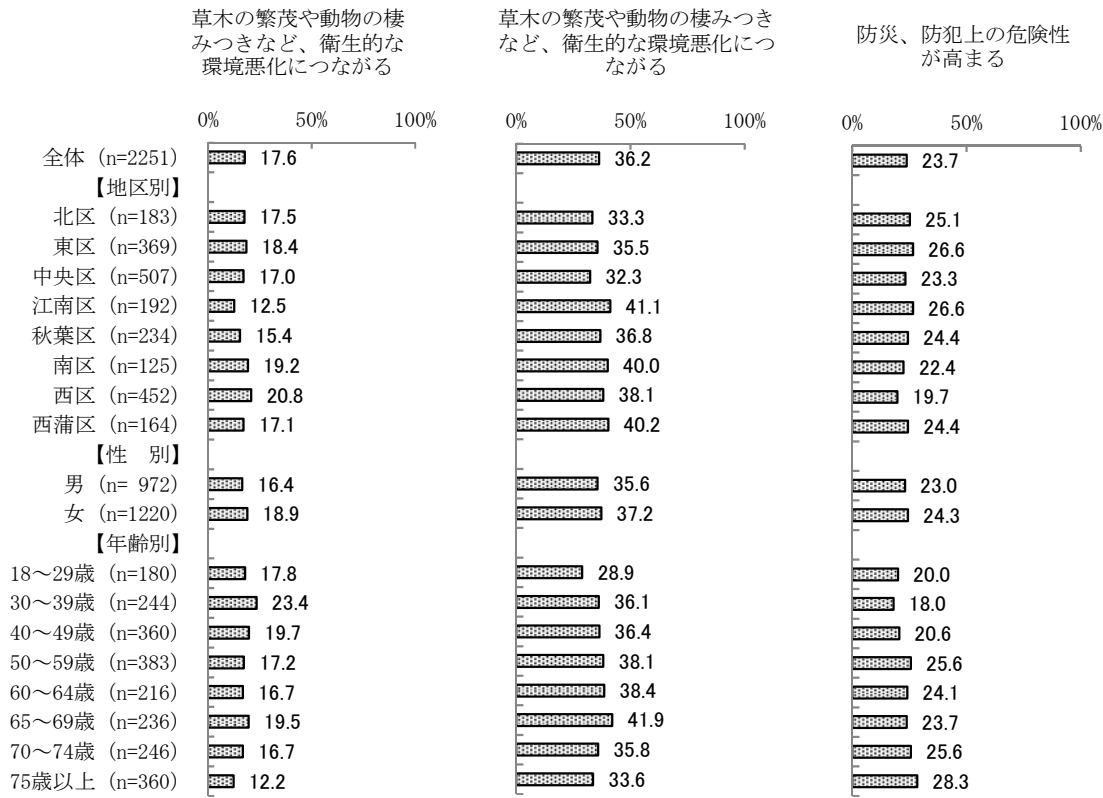


図 3-4-2 空き家が増えることによる重大な問題 第 2 位（地区別/性別/年齢別） 2/2

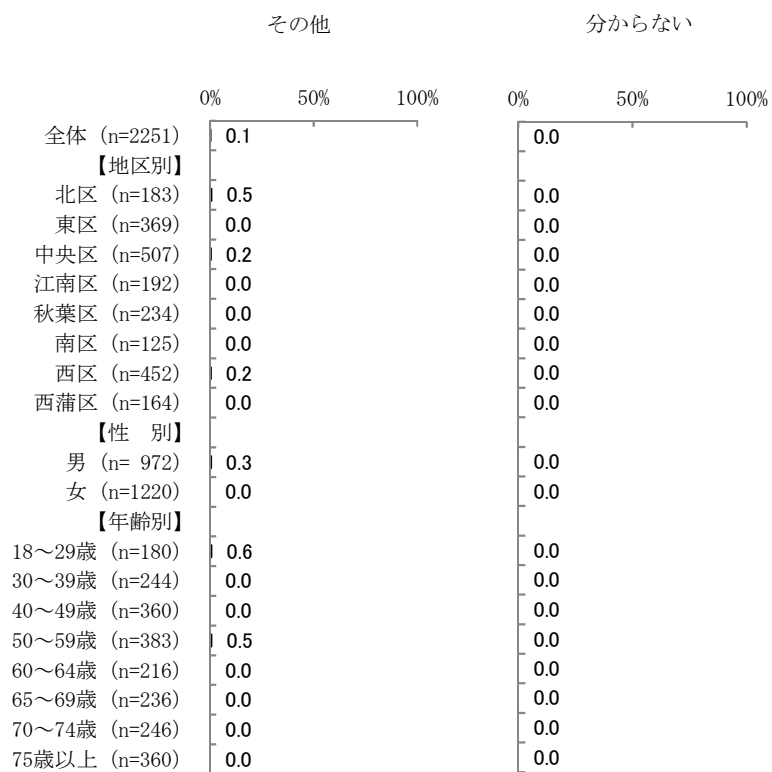




図 3-4-3 空き家が増えることによる重大な問題 第 3 位（地区別/性別/年齢別） 1/2

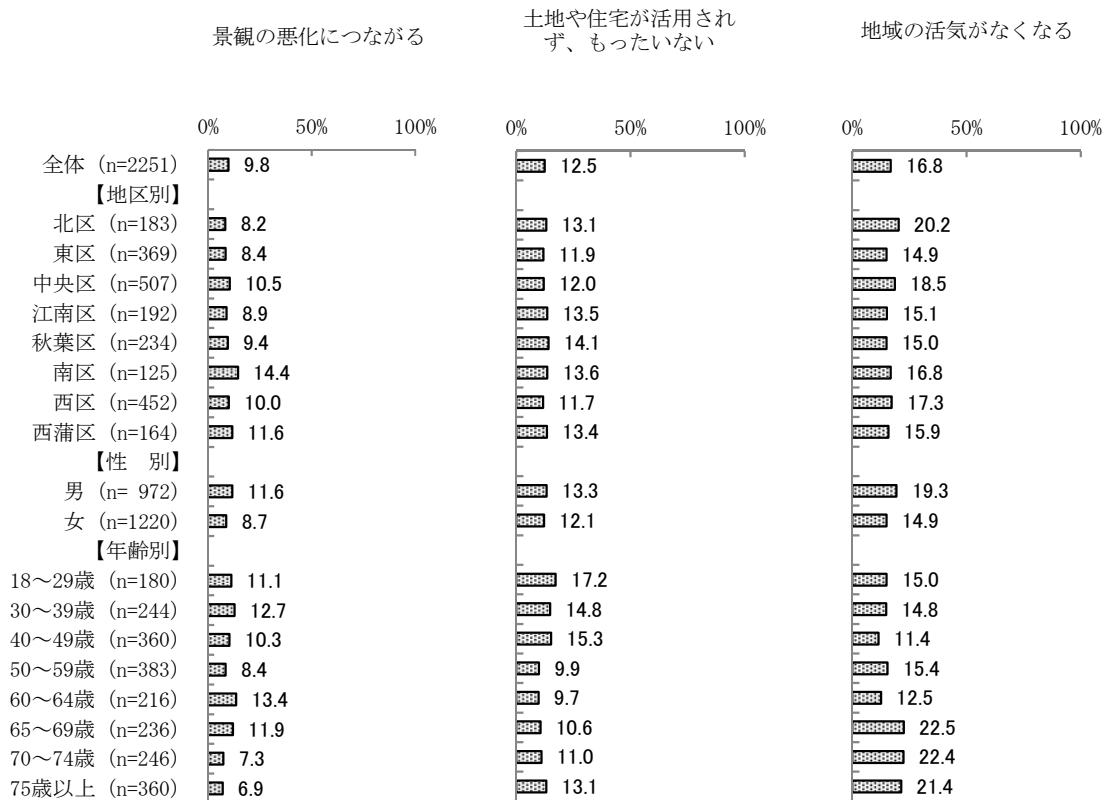
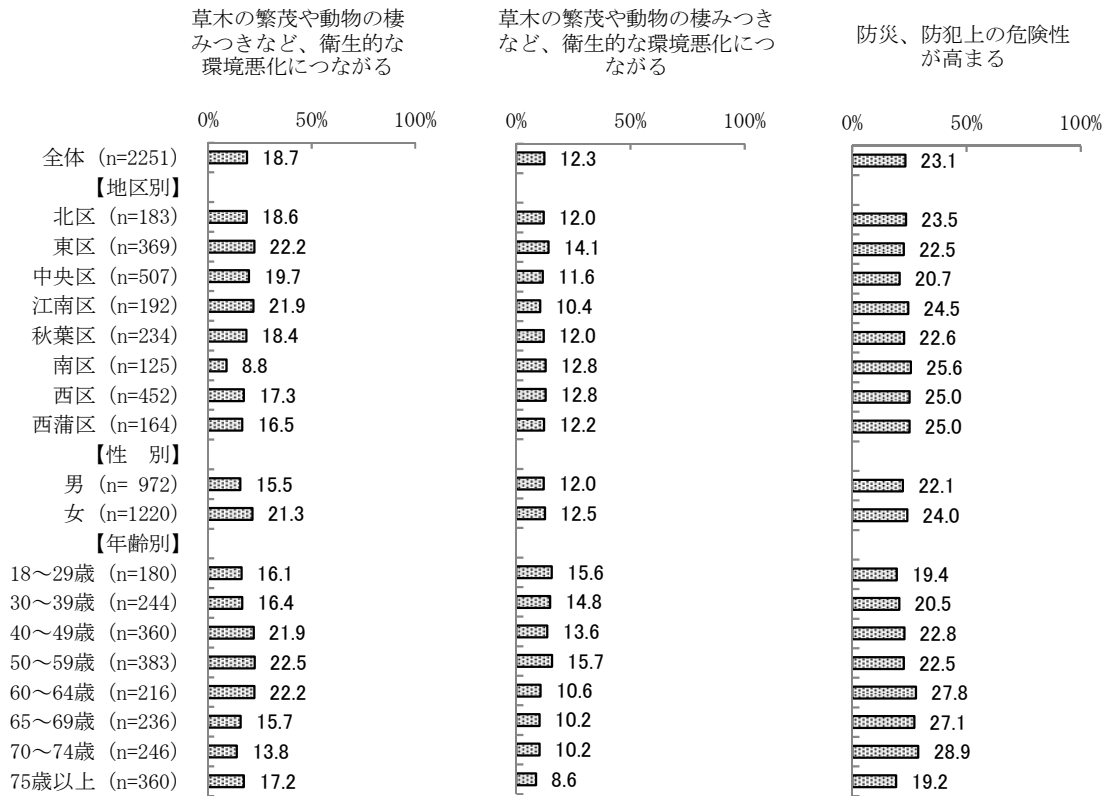
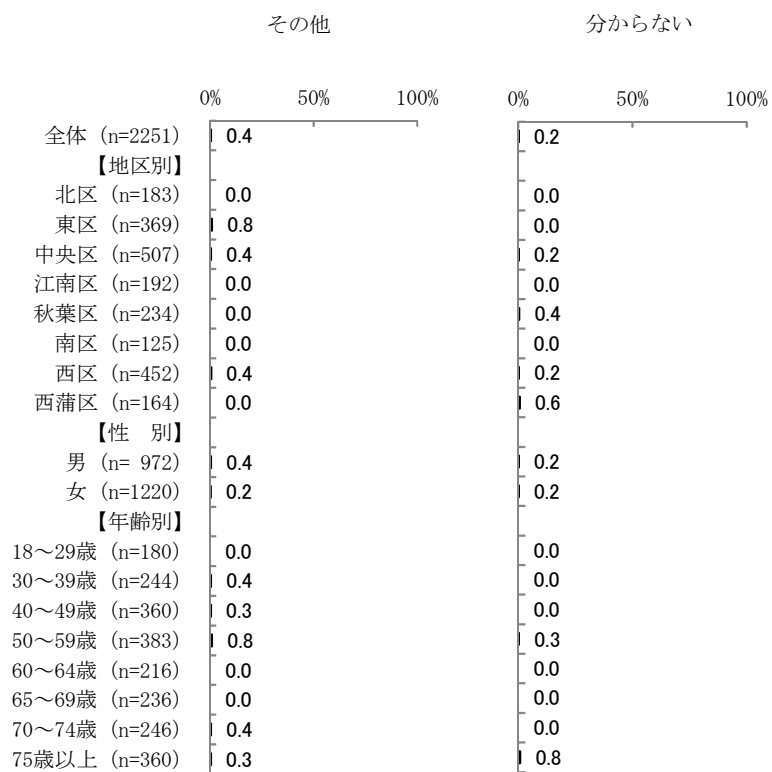
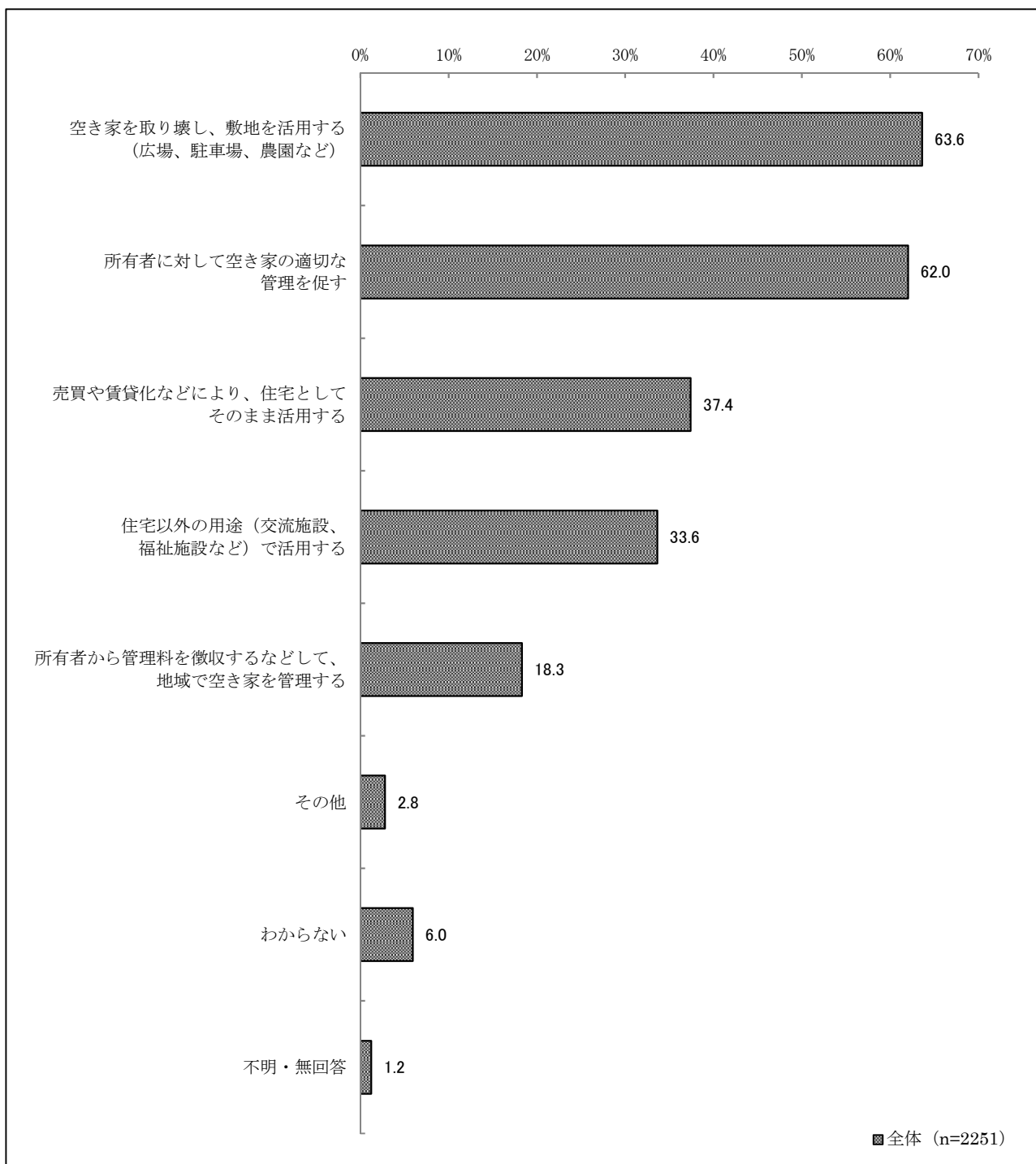


図 3-4-3 空き家が増えることによる重大な問題 第3位（地区別/性別/年齢別） 2/2



### (3) 空き家の今後の活用方法

問10 あなたは、地域の空き家を今後どうしていきべきだと思いますか。  
該当するもの全てに○をつけてください。(○はいくつでも)



— 「空き家を取り壊し、敷地を活用する」と「所有者に対して空き家の適切な管理を促す」が6割以上 —

**【全体結果】**

「空き家を取り壊し、敷地を活用する（広場、駐車場、農園など）」（63.6%）の割合が最も高い。次いで、「所有者に対して空き家の適切な管理を促す」（62.0%）の割合が高く、6割強となった。

**【属性別結果】（次ページ図 3-5 参照）**

① 地区別

「空き家を取り壊し、敷地を活用する（広場、駐車場、農園など）」については、秋葉区（68.4%）で割合が最も高い。

「所有者に対して空き家の適切な管理を促す」については、西区（67.7%）で割合が最も高い。

「売買や賃貸化などにより、住宅としてそのまま活用する」については、西蒲区（28.0%）と南区（30.4%）で割合が低かった。

② 性別

性別による大きな違いはみられないが、5ポイント以上差がみられたのは、「所有者から管理料を徴収するなどして、地域で空き家を管理する」で、女性（15.7%）と比較して男性（21.4%）で割合が高かった。

③ 年齢別

「空き家を取り壊し、敷地を活用する（広場、駐車場、農園など）」については、30～39歳（82.8%）で割合が最も高い。年齢が高くなるほど割合が低くなる傾向がみられる。

逆に、「所有者に対して空き家の適切な管理を促す」は、年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向がみられる。

図 3-5 空き家の今後の活用方法（地区別/性別/年齢別） 1/2

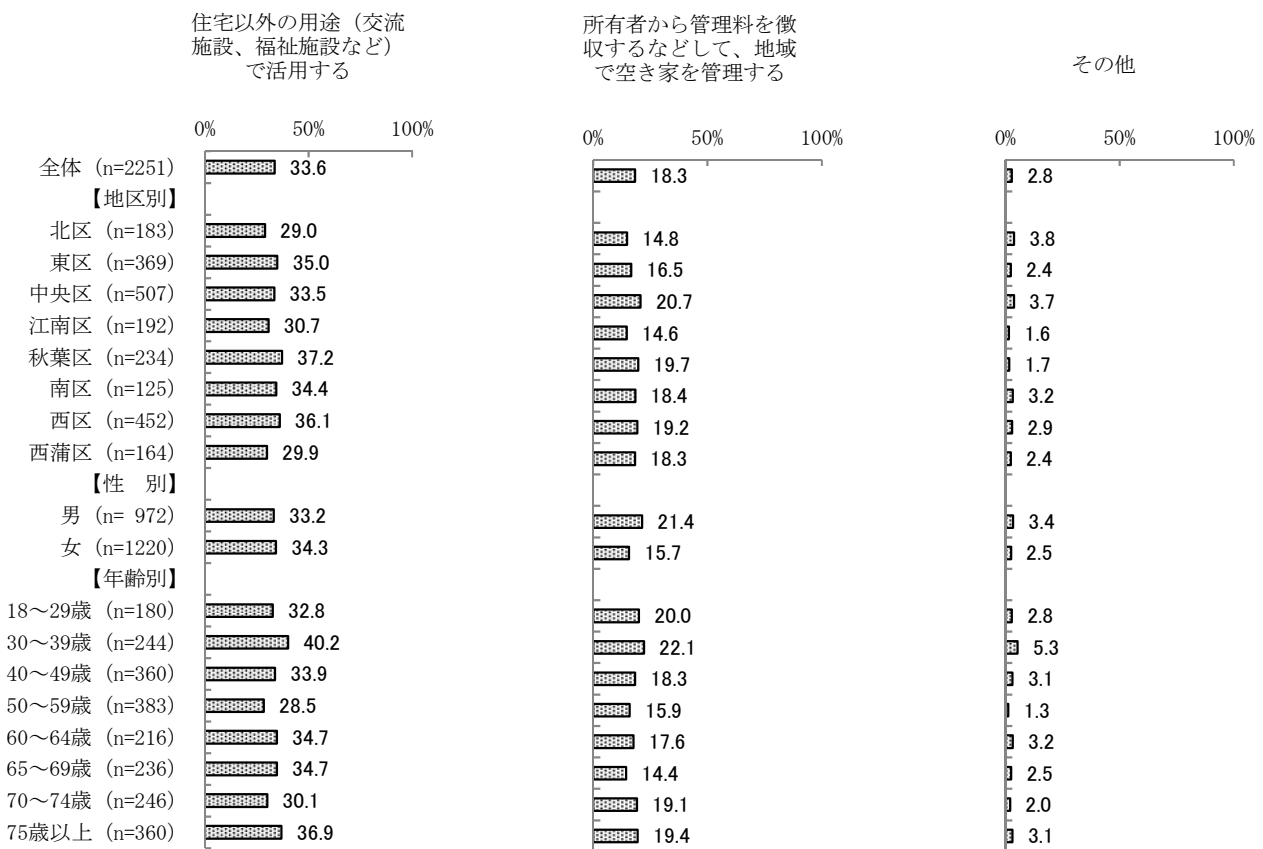
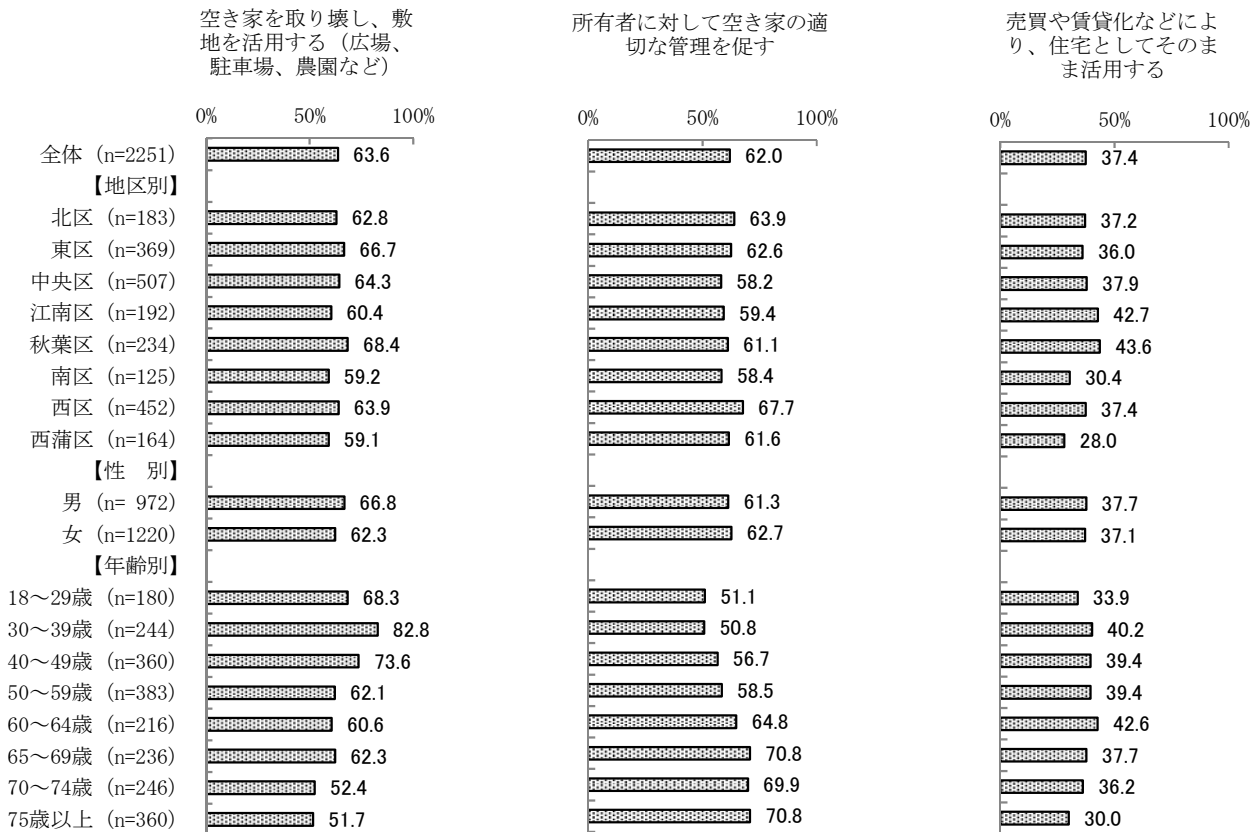
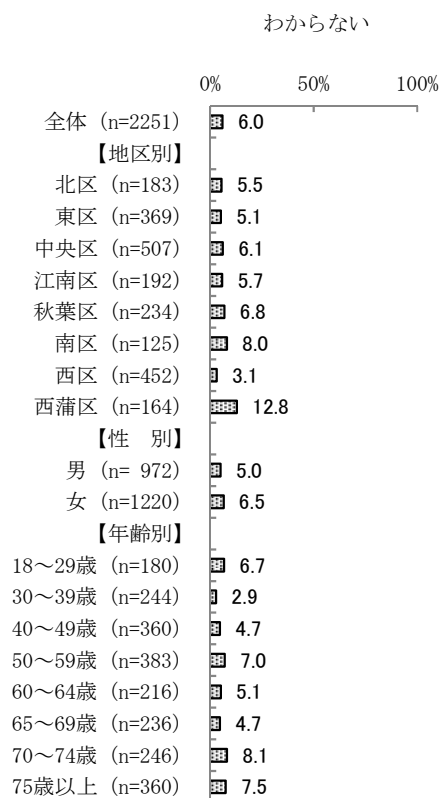
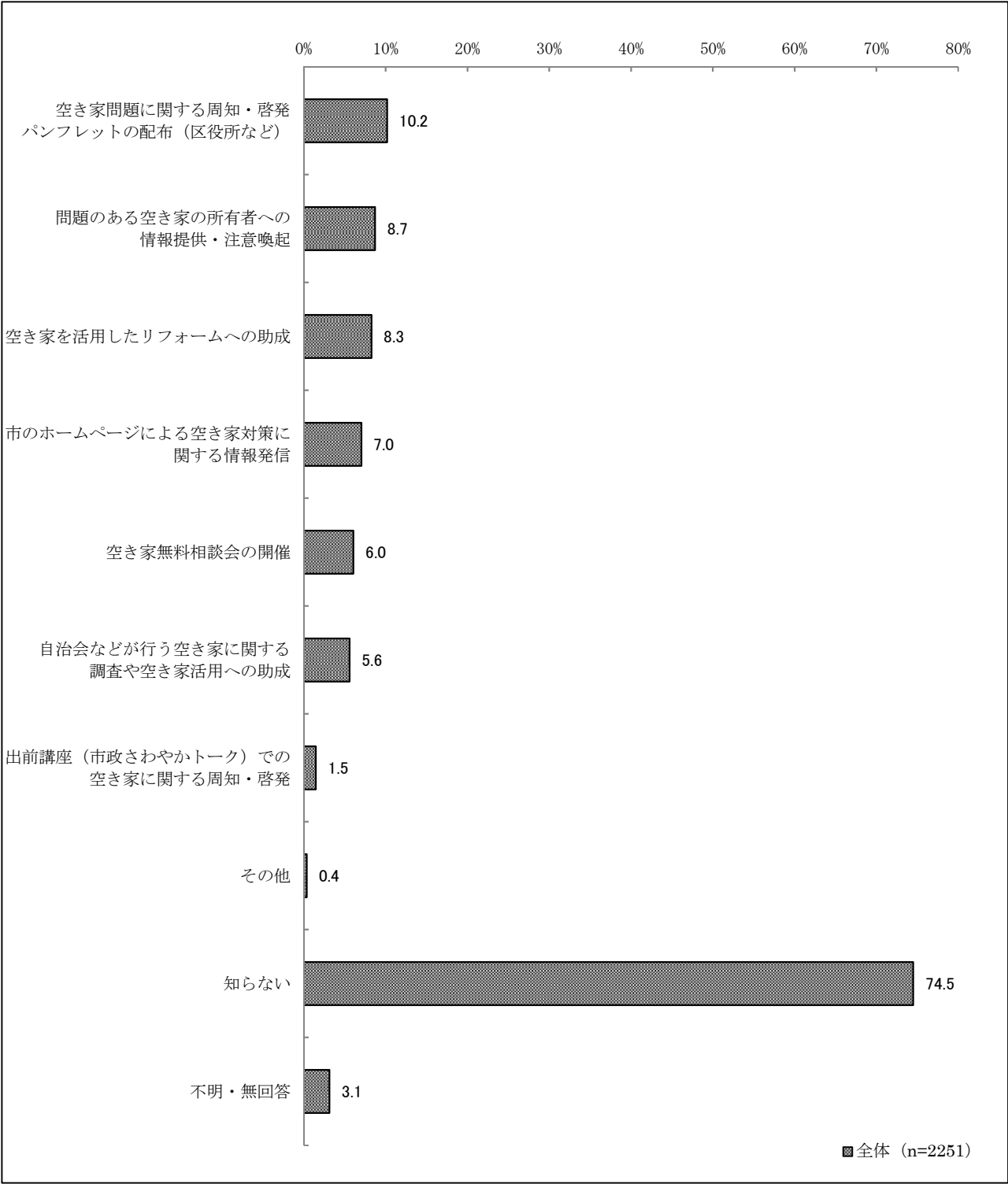


図 3-5 空き家の今後の活用方法（地区別/性別/年齢別） 2/2



#### (4) 市で行われている空き家対策の取り組みの認知状況

問 1 1 あなたは、市で行われている空き家対策の取り組みについて知っていますか。  
該当するもの全てに○をつけてください。(○はいくつでも)



**【全体結果】**

市で行われている空き家対策の取り組みについて、「知らない」(74.5%)の割合が7割を超えた。取り組みの中では、「空き家問題に関する周知・啓発パンフレットの配布(区役所など)」(10.2%)の割合が最も高かったが、それ以外は1割未満であった。市のいずれかの取り組みを知っていると回答した人(「知らない」74.5%と「不明・無回答」3.1%以外)は約2割であった。

**【属性別結果】(次ページ図3-6参照)**

① 地区別

「知らない」の割合が最も低い北区(69.4%)でも約7割となった。東区と江南区(いずれも78.6%)では8割近くとなった。

② 性別

ほとんど差はみられない。

③ 年齢別

「知らない」は、18~29歳(83.3%)、30~39歳(83.6%)で割合が高く、75歳以上(59.4%)で割合が最も低い。年齢が高くなるほど割合が低くなる傾向がみられる。



図 3-6 市で行われている空き家対策の取り組みの認知状況（地区別/性別/年齢別） 1/2

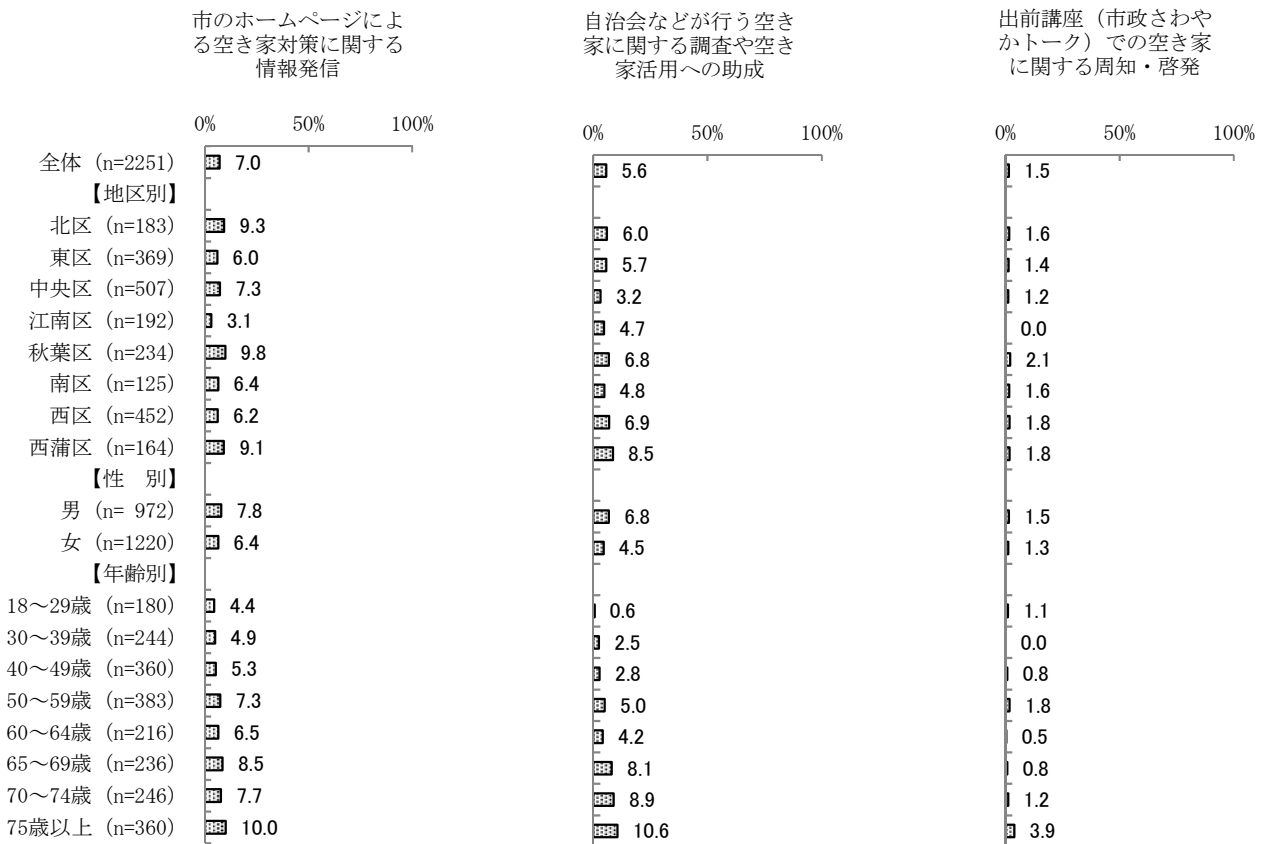
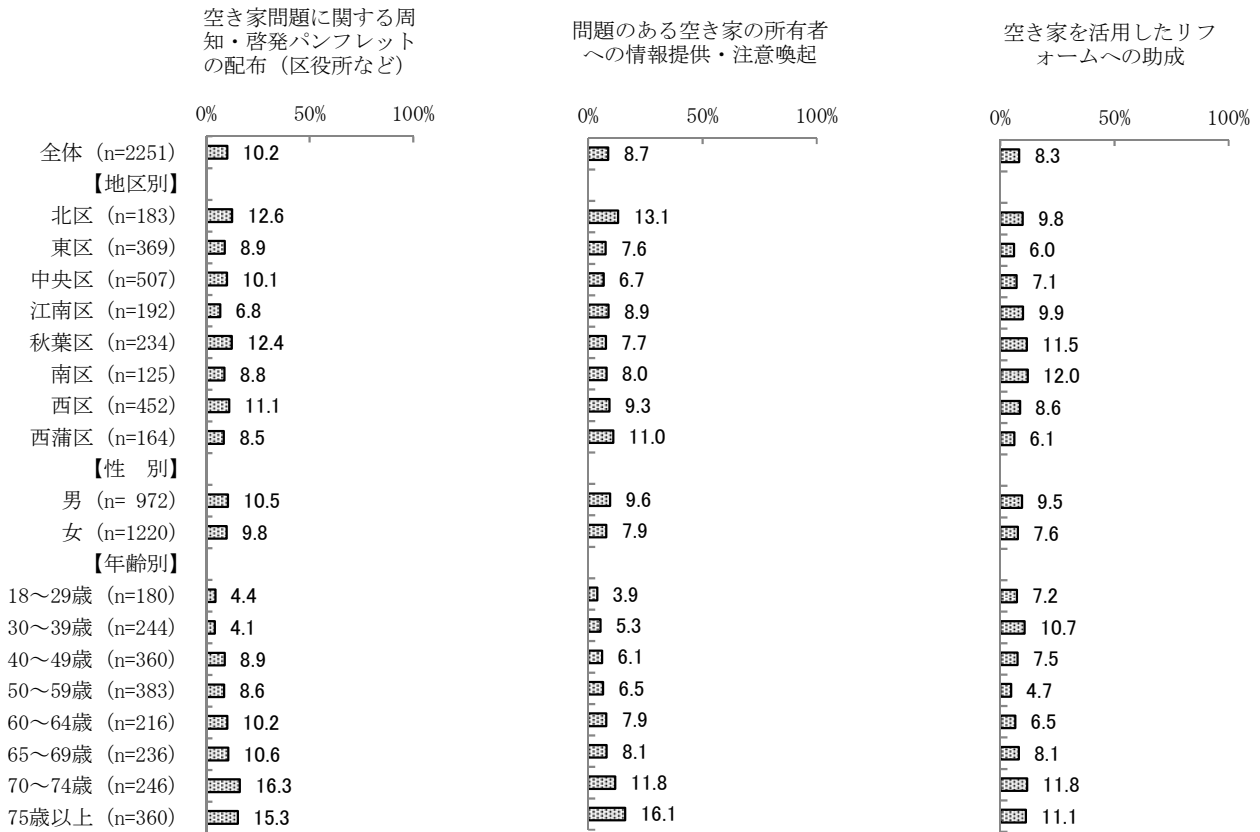
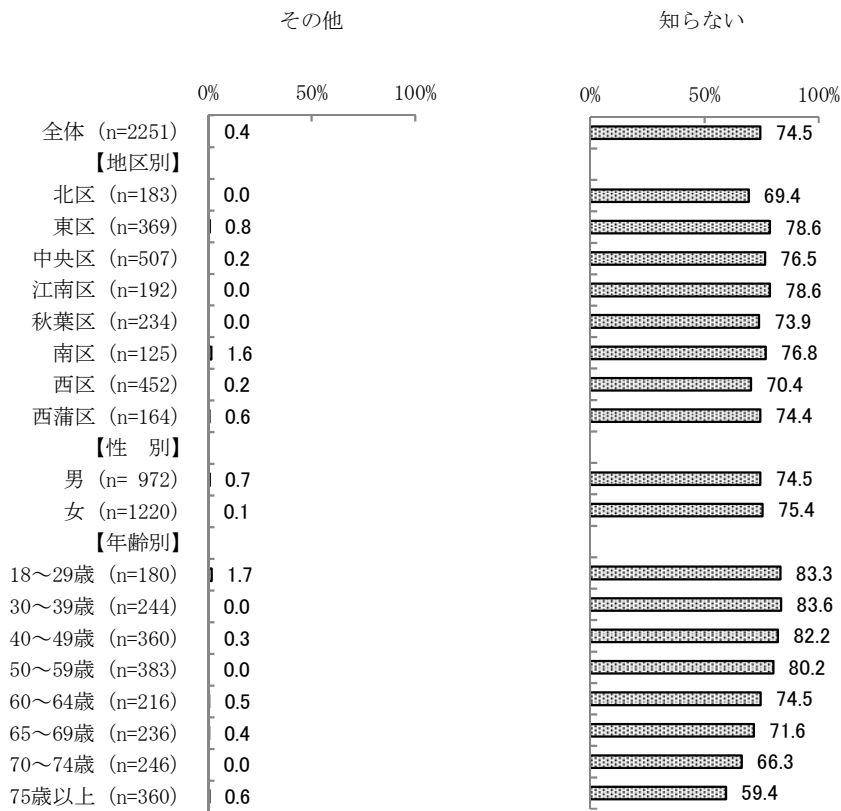
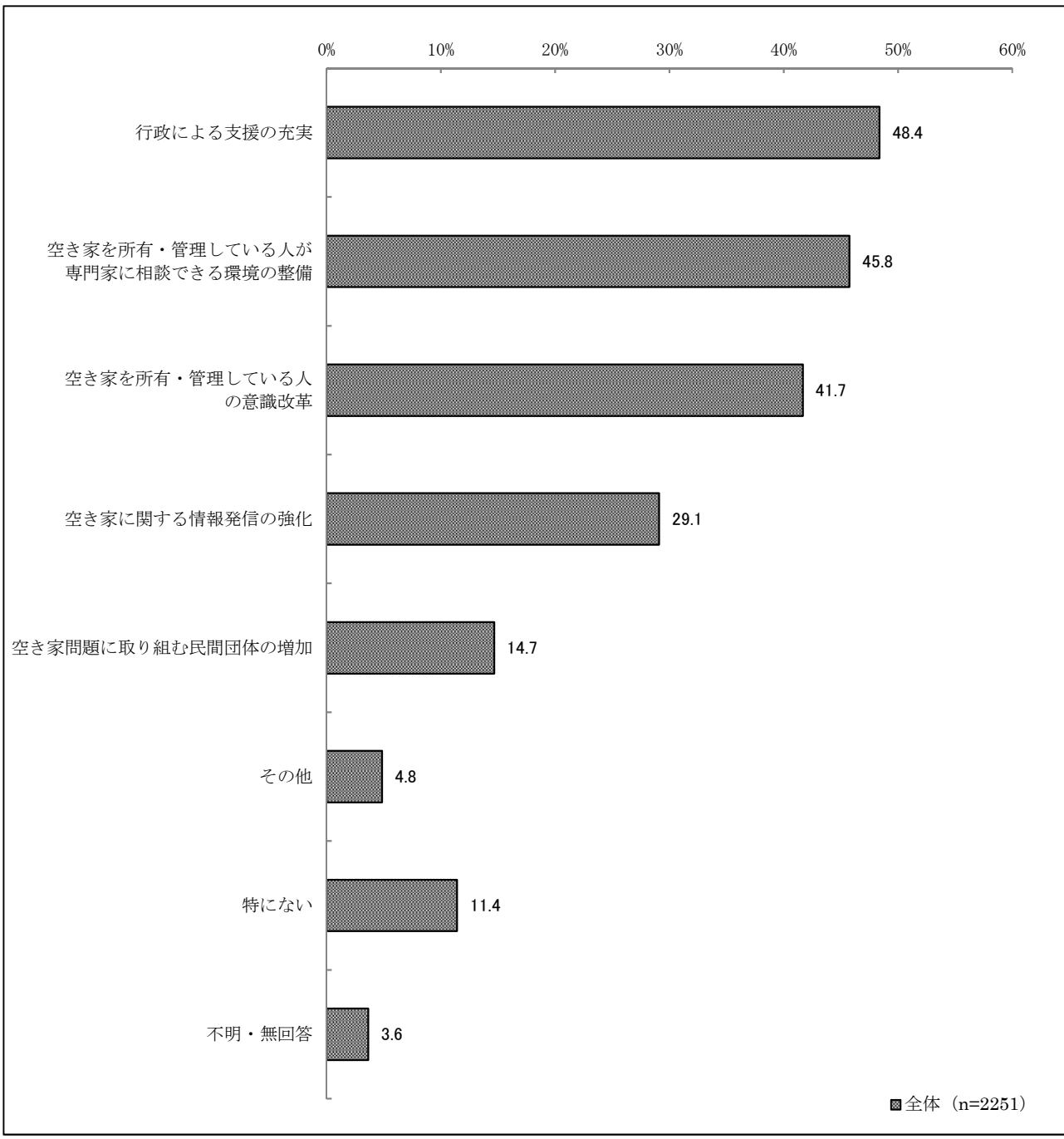


図 3-6 市で行われている空き家対策の取り組みの認知状況（地区別/性別/年齢別） 2/2



### (5) 必要だと思う市の空き家対策

問12 あなたは、空き家問題を解決するために、市の空き家対策としてどのようなことが必要だと思いますか。該当するもの全てに○をつけてください。また、具体例があればお答えください。(○はいくつでも)



## — 「行政による支援の充実」が約5割 —

### 【全体結果】

必要だと思う市の空き家対策は、「行政による支援の充実」（48.4％）の割合が最も高く、約5割となった。次いで、「空き家を所有・管理している人が専門家に相談できる環境の整備」（45.8％）、「空き家を所有・管理している人の意識改革」（41.7％）が4割強となった。

### 【属性別結果】（次ページ図3-7参照）

#### ① 地区別

「行政による支援の充実」については、秋葉区（53.8％）で割合が最も高く、次いで西区（52.9％）で高く5割を超えている。南区（39.2％）で割合が最も低い。「空き家を所有・管理している人が専門家に相談できる環境の整備」については、秋葉区（50.0％）で割合が最も高く、西蒲区（41.5％）で割合が最も低い。

#### ② 性別

ほとんど差はみられない。

#### ③ 年齢別

「行政による支援の充実」、「空き家を所有・管理している人が専門家に相談できる環境の整備」については、40～49歳（各54.7％、51.7％）で割合が最も高くなっている。

図 3-7 必要だと思う市の空き家対策（地区別/性別/年齢別） 1/2

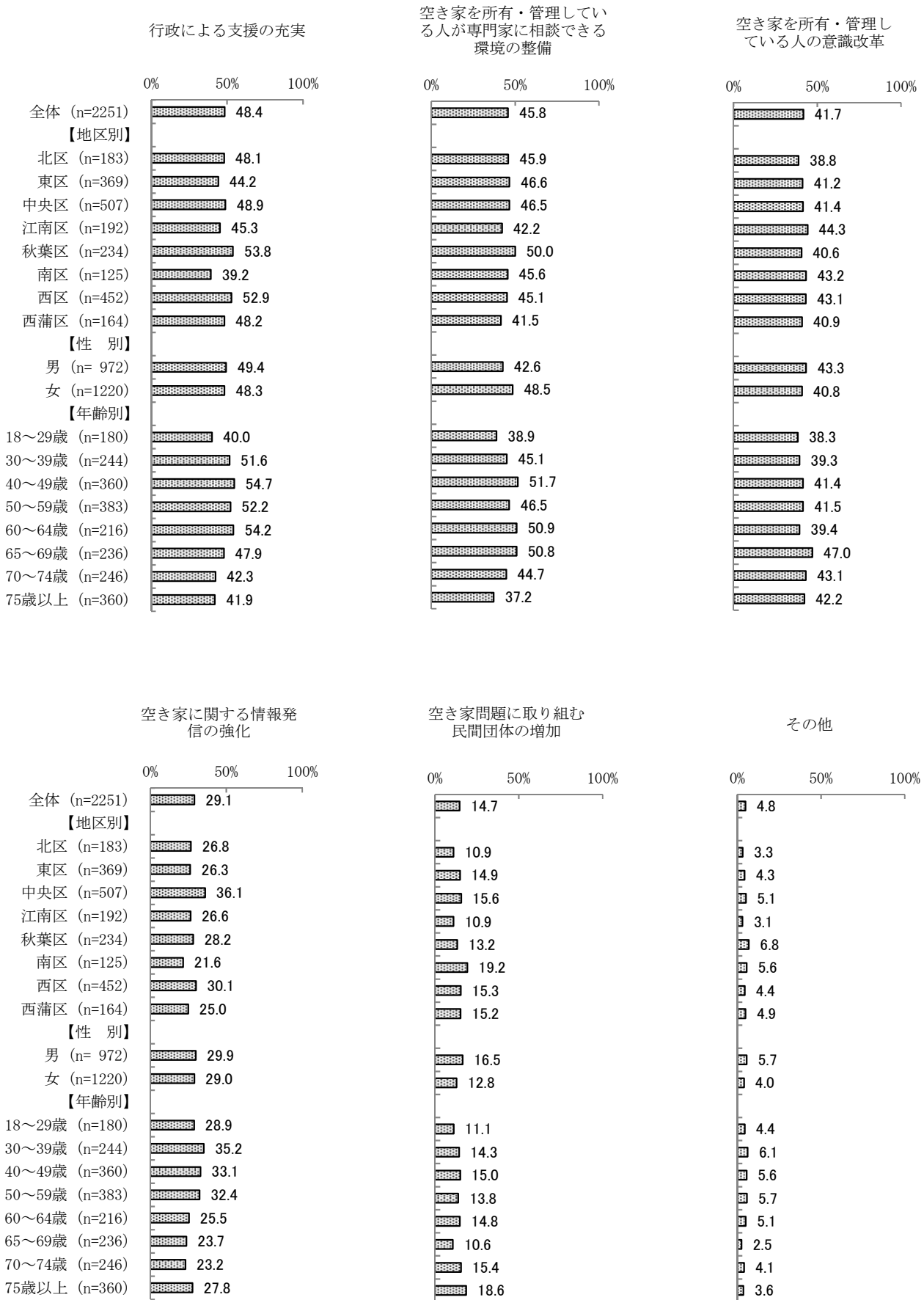
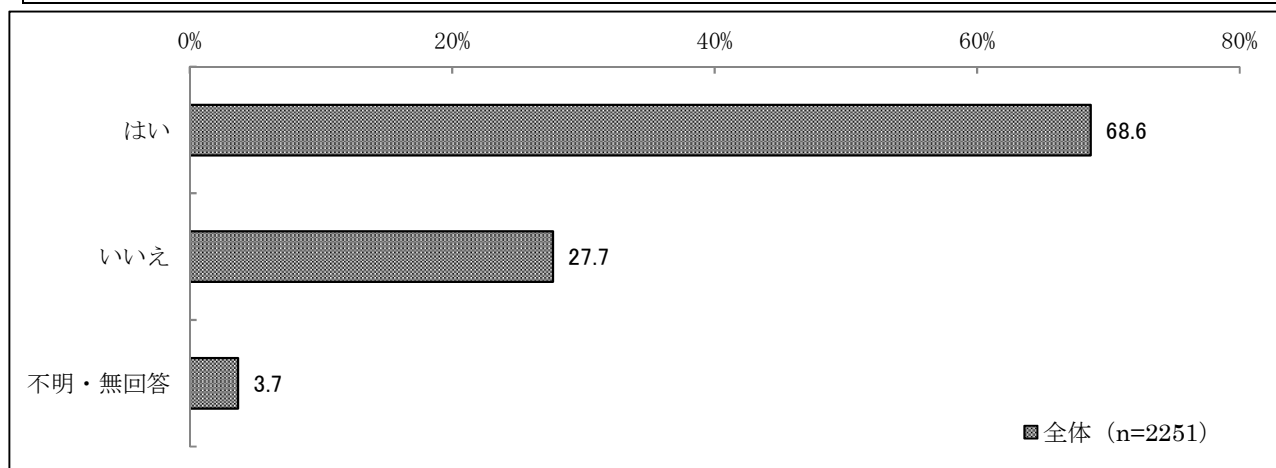


図 3-7 必要だと思う市の空き家対策（地区別/性別/年齢別） 2/2



## (6) 空き家の所有者（管理者）になる可能性の認知

問13 あなたは、様々な理由で誰もが空き家の所有者（管理者）になる可能性があることをご存知ですか。該当するもの1つに○をつけてください。



— 「はい」（知っている）が約7割 —

### 【全体結果】

「はい」（68.6%）が約7割となった。

### 【属性別結果】（次ページ図3-8参照）

#### ① 地区別

「はい」は、南区（78.4%）で割合が最も高く、約8割となった。東区（62.3%）で割合が最も低い。

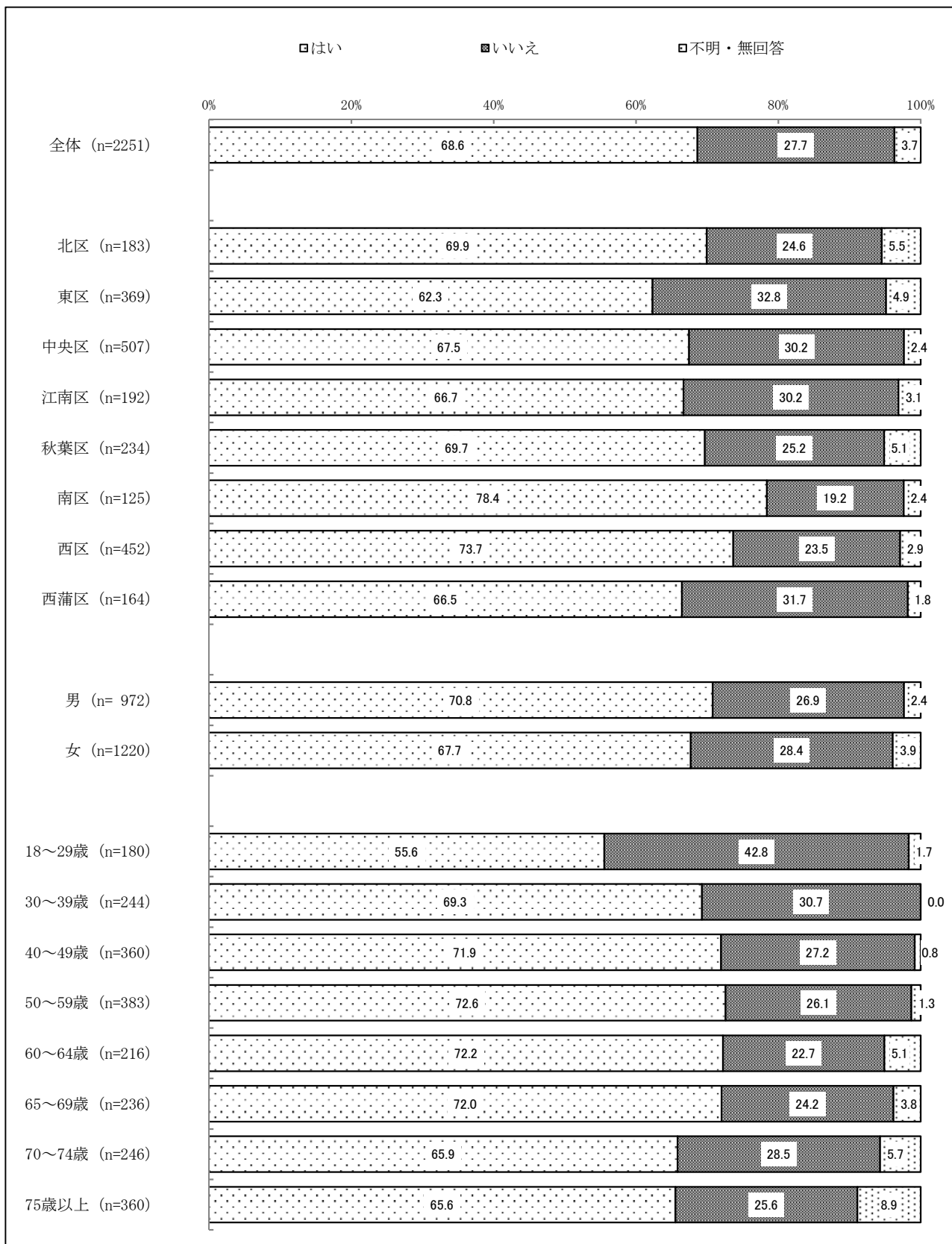
#### ② 性別

「はい」は、女性（67.7%）と比較して男性（70.8%）で割合がやや高くなっている。

#### ③ 年齢別

「はい」は、30～69歳では約7割となっているが、70歳以上では65%程度となっており、18～29歳では6割以下となっている。

図 3-8 空き家の所有者（管理者）になる可能性の認知



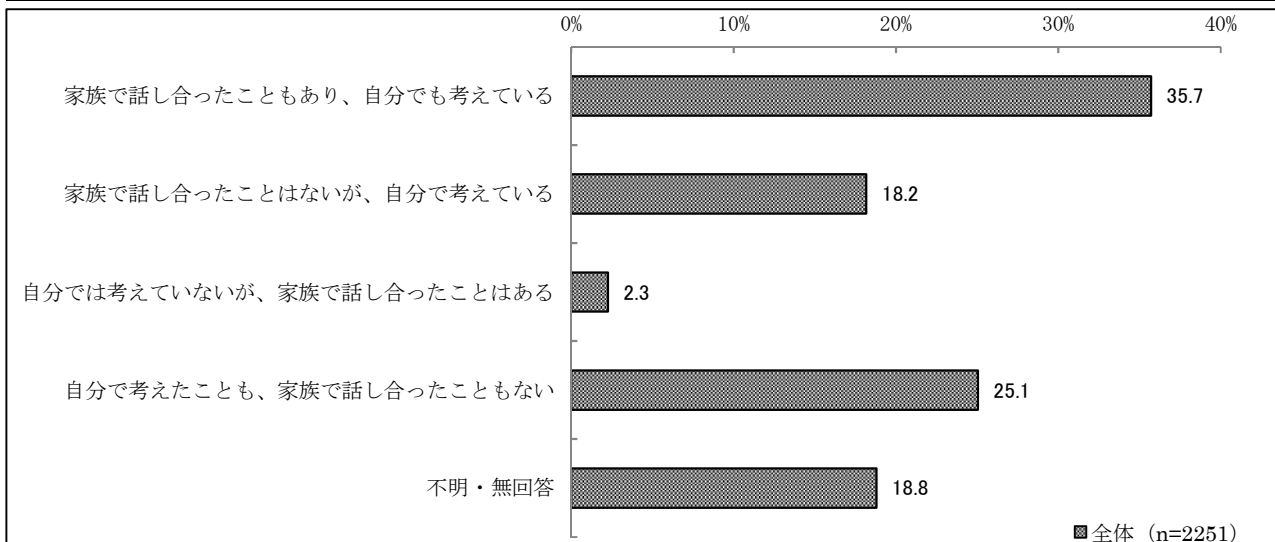


## (7) 家族等との話し合い

《持ち家（マンションなどを含む）に現在居住されている方にお聞きします》

※現在賃貸住宅などにお住まいの方は回答不要です。

問14 自身が居住している住戸が将来空き家にならないように考えたり、家族等と話し合ったことがありますか。該当するもの1つに○をつけてください。また、2～4を選んだ方は、家族で話し合ったり、自分で考えたりしにくい理由をお答えください。（○は1つだけ）



— 「家族で話し合ったこともあり、自分でも考えている」が3割以上 —

### 【全体結果】

「家族で話し合ったこともあり、自分でも考えている」(35.7%)の割合が最も高く、3割を超えた。次いで、「自分で考えたことも、家族で話し合ったこともない」(25.1%)、「家族で話し合ったことはないが、自分でも考えている」(18.2%)と続くが、「自分では考えていないが、家族で話し合ったことはある」は1割に満たなかった。なお、家族で話し合ったり、自分で考えたりしにくい理由としては、主に「まだ先のことだと思っているから」という回答が多かった。

### 【属性別結果】(次ページ図3-9参照)

#### ① 地区別

「家族で話し合ったこともあり、自分でも考えている」については、地区別での大きな差はみられない。「家族で話し合ったことはないが、自分でも考えている」は秋葉区(26.1%)で、「自分で考えたことも、家族で話し合ったこともない」は江南区(32.8%)、西蒲区(32.3%)で割合が高い。

#### ② 性別

性別での大きな差はみられない。

#### ③ 年齢別

60歳以上では、「家族で話し合ったこともあり、自分でも考えている」の割合が高くなっているが、5割程度に留まっている。

図 3-9 家族等との話し合い（地区別/性別/年齢別）

